

みんなの声で勤務改善を！3分間アンケート

岐阜県教育委員会が「教職員の働き方改革プラン2019」を策定しました。これを受けて組合連では、真に教職員の立場に立った働き方改革を実現するために「勤務改善アンケート」を実施します。

以下の質問のあてはまる数字に○をつけてください。ご協力をお願いします。

【2019年6月末まで】

- | | | | | | | | |
|-------|---------|--------|--------|----------|----------|---------|------|
| ● 地区名 | ① 岐阜 | ② 西濃 | ③ 中濃 | ④ 可茂 | ⑤ 東濃西 | ⑥ 恵那 | ⑦ 飛騨 |
| ● 学 校 | ① 小学校 | ② 中学校 | ③ 高校 | ④ 特別支援学校 | | | |
| ● 性 別 | ① 男 | ② 女 | | | | | |
| ● 年 齢 | ① 20歳未満 | ② 20代 | ③ 30代 | ④ 40代 | ⑤ 50代 | ⑥ 60歳以上 | |
| ● 職 種 | ① 教諭 | ② 養護教諭 | ③ 実習教員 | ④ 寄宿舎指導員 | ⑤ 事務職員 | ⑥ 栄養職員 | |
| | ⑦ 図書館司書 | ⑧ 現業職員 | ⑨ 常勤講師 | ⑩ 非常勤講師 | ⑪ 校長・教頭等 | ⑫ その他 | |

1. 学校の指示による勤務時間の入力（パソコン・手書き・タイムカード等）を正確にしていますか

- ①ほぼ正確にしている ②少なくなるようにしている ③あまりしていない ④していない ⑤入力の指示がない

【自由記述】勤務時間の入力のことで改善してほしいことは何ですか

2. 勤務時間短縮のための具体的な指導・検討について教えてください。（複数回答可）

- ①会議時間の短縮 ②会議の回数・種類の削減 ③「ノー残業デー」の徹底 ④保護者への協力要請
⑤校内組織の見直し ⑥事務の見直し ⑦外部人材等の活用 ⑧部活動の制限 ⑨校内協力体制
⑩教室掲示の見直し ⑪研修等の見直し ⑫行事等の見直し ⑬管理職の働きかけ ⑭自分の工夫
⑮その他（ ）

3. <中学校・県立学校の方、お願いします> 部活動改革に関わって

(1) 部活動手当の上限が4時間から3時間に削減されましたが、活動時間は減りましたか

- ①減った ②減っていない ③昨年よりも増えた

(2) 部活動へのモチベーションは？ ①上がった ②変わらない ③下がった

(3) あなたの担当する部活は、顧問が2人以上いますか ①いる ②いない

(4) 部活動の休養日数は ①週平日1日以上と土日1日以上 ②週平日1日

- ③週土日1日 ④月1～2日 ⑤その他（ ）

(5)あなたが望む部活改革の内容は？ ①部活顧問の希望制 ②部活動の外部委託制 ③部活動の数削減

- (複数回答可) ④土日いずれかの休養日完全実施 ⑤朝練廃止 ⑥その他（ ）

4. <小・中学校の方、お願いします> 市町村独自の働き方改革に関する内容について

(1) 配置（増員）してほしい、またはなくしてほしい教職員（複数回答可）

- ①英語に関する支援 ②理科に関する支援 ③発達障がいに関する支援 ④不登校対応
⑤ICT対応 ⑥通常学級における支援 ⑦特別支援における支援 ⑧教員業務アシスタント
⑨その他（ ）

(2) 実施してほしい、またはなくしてほしい施策、備品、設備（複数回答可）

- ①統合型校務支援システム ②学校訪問の簡素化 ③市町村の連合音楽会や陸上記録会の廃止
④「こどもの姿」の所見を減らす ⑤留守番電話 ⑥洋式トイレ ⑦タブレット ⑧デジタル教科書
⑨電子黒板 ⑩更衣室・シャワー室 ⑪休憩室 ⑫その他（ ）

(3) 土曜授業をどうしたら良いと思いますか？ ①廃止 ②回数減 ③現状維持 ④回数増 ⑤実施していない

(4) 【自由記述】(3)の理由や土曜授業について思うことがあれば、お書きください

5. 【自由記述】現在進められている「働き方改革」について、思うところをお書きください（管理当番の負担軽減、勤務時間、持ち時間数の軽減、各種ハラスメント対策等）

←昨年度までは長時間勤務の把握のために出退勤を記録する勤務実態調査を行ってきました。

←県教委発出の「働き方改革プラン2019」です。

14年目の勤務実態調査報告

健康破壊ライン超 86.6%

ほぼ昨年と
変化なし

うち過労死ライン超 62.2%

中学校は健康破壊ライン超95%・
過労死ライン超86%、時間外週31時間

勤務時間の記録
ほぼ正確にしている
ある程度している

昨年 85% ↓ 今年 91%

勤務時間短縮の指導・検討
職場での取組はすすんでいるが...

検討した、
もしくは検討中

昨年 75% ↓ 今年 83%

「働き方改革」「8の日」「部活動指針」
などは活用されているのか?

- 具体的に指導・検討したと TOP5
- ①「ノー残業デー」徹底
 - ②会議時間の短縮
 - ③管理職の働きかけ
 - ④会議回数・種類の削減
 - ⑤教室掲示の見直し



定年延長なんて、無理でしょ。

知っていますか？(原労省通達)
これを超える時間外労働は危険！
健康破壊ライン 月60時間以上
過労死ライン 月80時間以上

ヒサナデー 毎日

1日の勤務時間は7時間45分
11月15日号
組合連ニュース

岐阜県教職員組合連絡会議・勤務実態調査●回答者数1,403名●実施時期6月11日(月)～17日(日)

時間外勤務(校内外)
平均週23.7時間

教職員の働き方改革プラン2019

国の動向	○働き方改革関連法の成立(労働安全衛生法の改正)(H30.6) →労働時間の状況が把握することが事業者の義務として明記 ○文部科学省「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」の策定(H31.1) →時間外勤務の上限の目安時間を「原則1月45時間・1年360時間」	基本目標 時間外勤務時間(※)が月45時間以内となることを目指しつつ、まずは、時間外勤務時間が月80時間を超える教職員をゼロにする
現状	○県立学校において長時間勤務を行っている教職員の割合 ※平成30年度の最繁忙月(5月) 【月80時間超】25% 【月45時間超】60%	

1 長時間勤務・多忙化解消に向けた取組の推進

勤務時間管理の徹底と勤務時間を意識した働き方の推進

- ◎退勤時刻の設定
- ◎基本となる開錠・施錠時刻の設定と手法の検討
- 全県的な時間外の留守番電話対応の実施
- タイムマネジメント研修等の実施

業務内容の不断の見直し

- ◎ICT機器の整備・活用(教材・指導案等の共有化)

部活動指導に係る負担軽減

- ◎高等学校部活動ガイドラインを踏まえた適切な休養日の設定
- 単独指導や単独引率できる「部活動指導員」の配置
- ※配置に当たっては教員の負担軽減効果を考慮

学校を支える体制の整備

- スクールカウンセラー等の外部専門人材の配置拡大
- ◎農業高等学校における農場管理の支援
- 学校運営協議会を活用した地域との連携(業務の削減や役割分担の見直し)

2 ハラスメントとメンタル不調等の速やかな察知と解決

ハラスメント等の速やかな察知と解決

- ハラスメント等の防止に向けた研修の充実(独自教材の開発)
- ハラスメント等に関する専用相談窓口の設置

教職員の心身の健康づくりの支援

- ラインケア充実のための研修や啓発の実施

3 働きやすい環境づくりに向けたマネジメント力向上と組織体制の確立

管理職等のマネジメント力の向上

- 学校における労務管理や危機管理等に関する研修の実施

4 市町村教育委員会の取組の働きかけ

平成31年度の重点項目

- 休日も含めた正確な勤務時間の把握
- 月80時間を超える時間外勤務者に対する心身の健康状態の確認の徹底
- 部活動における週2日以上休養日の設定等

※時間外勤務時間＝文部科学省のガイドラインに定める「在校等時間」から県の条例で定める「正規の勤務時間」を減じた時間